

## 大きくなってね

竜川小児童が稚魚放流

善通寺市原田町の竜川小学校（森昭二校長）の児童約15人は27日、多度津沖でタケノコメバルとキジハタの稚魚を放流し、沖に向かって元氣よく泳ぐ姿を笑顔で見送った。

放流は瀬戸内海の環境を守ろうと活動している瀬戸内東部遊漁船協議会（福本



を持ってもらい、瀬戸内海の資源回復につなげようと児童を招待した。

この日は体長3センチ前後のタケノコメバルと10センチ前後のキジハタの稚魚計1200匹を用意。児童は船上から稚魚が数匹ずつ入ったバケツを優しく傾け、「大きくなって帰ってきてね」などと声を掛け、成長を願っていた。

同協議会によると、タケノコメバルは3～4年で25センチほど、キジハタは2～3年で60センチほどに成長するといふ。